

第21回かまくら市民活動フェスティバル シャベくりcafe

ミニレクチャー 交流会、グループ発表



2019年11月4日（月祝）

地域連携ステーション「フミコム」コミュニティマイスター
一般社団法人JIMI-Lab 理事

田邊 健史 (たなべけんじ)

1. 自己紹介
2. ミニレクチャー 2 協働事例紹介
3. 交流会
4. 私は○○をします！宣言
5. 全体共有

鎌倉の魅力UP！

1. 自己紹介

田邊 健史(たなべ けんじ)



フミコム(地域連携ステーション) コミュニティマイスター★

- ・NPO法人きずなメール・プロジェクト きずなメール事業部ディレクター★
- ・NPO法人日本橋フレンド 事務局★
- ・一般社団法人Work Design Lab 共同創業者・理事
- ・順天堂大学 国際教養学部グローバル・ヘルスプロモーション・リサーチセンター 客員研究員
- ・公益財団法人つなぐいのち基金 助成金選定委員会副選考委員長
- ・一般社団法人JIMI-Lab(中間支援組織共同研究会)理事
- ・GRASS(持続可能なNPOスタッフのための相互扶助の会)発起人 等

●職歴

1. 新聞奨学生(4年半)
2. 飲食店(2年半)
3. NPO(15年)

2005年12月～2016年3月

NPOサポートセンター入職 **約10年** 年5, 6回は講演、企画企画企画

2010年4月～2016年3月

6年

協働ステーション中央(中央区)

実践講座の企画、新見本市、2,000件以上の相談対応、100件以上のマッチング

●発信

→facebook

(tanabe.kenji)

→another life

an-life.jp/article/448/

座右の銘:「出会いは偶然ではない、運命で必然なのである」

通称:ソソノカシスト(良い意味で“そそのかす”)

好きな人:小澤綾子(筋ジストロフィーシンガー):Happyのあり方

信用力は、相手が応援せずにはいられない程の情熱、地道かつ戦略的な活動。そして「感謝」と「謙虚」を忘れない事に尽きる。

ブログ「義人感謙」(義理、人情、感謝、謙虚の略)

盆踊りが好きすぎ⇒昨年は35回ほど参加。

1979年生まれ、40歳

出身:神奈川県大和市

妻、娘(5歳)と三鷹市在住



another life. (アナザーライフ)

2015-02-21

手を差し伸べ、キッカケを創る仕事を。
周りとは比べず、自分を突き詰めると決めた理由。

<https://an-life.jp/article/448>



facebook : 田邊健史 (たなべけんじ)

<https://www.facebook.com/tanabe.kenji>

個人ブログ : 田邊健史の「義人感謙」

<http://tanabekenji.hateblo.jp/>

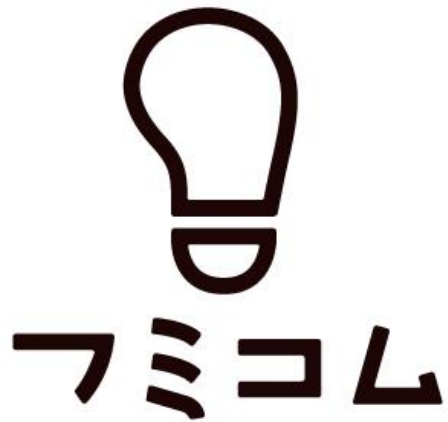
オマツリジャパン インタビュー記事

2018-07-18

「盆踊りには地域の大切にしたいものが詰まっている」
3人の「盆踊ラー」が語る、輪の中に入る魅力

<https://omatsurijapan.com/blog/bonodori01/>





地域連携ステーション

2016年4月～
東京都文京区
運営：文京区社会福祉協議会

活動支援コーディネーター
↓
コミュニティマイスター

(個人業務委託契約)



コミュニティマイスターとして →自分としての軸

1. ゴールの明確化 何を目指すのか、ありたい姿の道筋を照らすこと
2. 適材適所 的確な役割分担、できる or できない の見極め
3. 決裁（権限）移譲 偶然も認められる寛容さ、我慢も必要
4. 協働する姿勢 絶対無理、ではなくて一緒に考える
5. 感謝は直接 次も関わりたいと思うかの要
6. 遠慮は禁物 「自分が行うこと」が生きがいに感じる人はいる
7. メリットをプレゼントに あなたに頼みたい理由、お金では買えない価値

2. ミニレクチャー2 協働事例紹介

「ゆしま子育て新聞」

ゆしま子育て新聞
創刊
春 Vol.01 2019
TAKE FREE

お祭りって何だろう?
湯島に住む子どもたちが、町会のおとなたちに、直撃インタビューしました!

子どもといっしょにお祭りを楽しむコツ

お祭り特集

子どもたちが町会のお祭りに参加して楽しんでいます

今年も5月20・21日に、湯島天宮寺の「例大祭」が行われます。例大祭について、地元の子どもたちによる町会のみなさんへの直撃インタビューほか、お祭りのルートマップもご紹介! これを読めば、湯島のお祭りに行き先くなる!

ゆしま子育て新聞
→地域がもっと好きになる情報誌
テーマ
お祭り、夏祭り、防災、子育て環境

取材：子ども → 大人
編集：大人

ゆしま子育て新聞の発行に協力した関係者の方々に感謝いたします。

- 1. 地域の人に「取材」として聴く**
これまで話したことがない新しい住民
(今回は子育て世帯)の方が生活をしていて
疑問に思うことは何かを知る
- 2. 共有の仕方**
読者の対象は、どうやったら地域とつながる
ことができるか、と思っている人
- 3. 役割を創造**
住んでいる私にとって 地域 とは何か

協働を考える時のポイント

自分はどうなりたいのか？

⇒目標の具体化

⇒有言から全ては始まる



地域で何を実現するのか
具体的なイメージ
「こうなりたい」

地域で実現
したいこと

自分が
提供
できること

地域が求
めている
こと



強み、好きなことが
団体にどう貢献できるか？
「私、これができます」



地域の何が解決できるのか。
サービスを求める人はどのくらいいるのか？
その根拠は？

ねらい

1. 組織 個人の集合体

心の中の思いを知らないと協働は無理
協働 ≠ 目的 必要な時に協働する

2. 交流会を通じて

話す → 離す

聞く → 聴く

自分の話をする のと同じくらい
相手の思いを引き出す

3. 交流会 個人の思いを話すために

1. 「私が」好きなこと

私は、

が大好きです。

2. 「私が」得意なこと／苦手なこと

私は、

が得意／苦手です。

3. 鎌倉、地域のココが好き

鎌倉の

が大好きです。

4. 何故、このテーマに来たか

5. 最近、気がかりに思っていること

3. 交流会 進め方

1. 考える 個人で書き込む 【5分】
2. 伝える 準備 【1分】

3. 伝える グループ内で共有 【人数×3分】
話し手：メンバーを見て話す
聴き手：相手の良さを観察

4. 話し合う グループ内のメンバー（組織）で
どんなことができるか 【 : まで】

5. 考える 私／組織 は〇〇をします宣言 【5分】

6. 伝える グループ内で共有 【人数×1分】
7. 伝える 全体共有 【グループ×3分】

1. 全ての人・団体には魅力がある
だからこそ、差別化と価値の見直し

2. 連携とは予想外を楽しむもの
自分たちの発想が広がることも魅力

3. 期間を決めて、相乗効果を意識
協働することを目的にしない

4. 大切なことは明文化する
役割分担、メリット、スケジュール、\$

5. これまで実施した内容を見直す
ノウハウ、今後に生かせるものは？

6. やりたいことは明言・有言実行
周りに話す、話す、話す。

7. 興味を持ったなら即行動
感謝と謙虚、義理と人情を忘れずに

